

日本のコガネムシ

日本には、約360種のコガネムシ科の昆虫が生息している。

一口にコガネムシと言っても、種ごとに形態や生態が大きく異なる。特に食性は、植物の葉などを食べるもの、樹液を食べるもの、動物の死骸や糞を食べるものと幅広い。

ちなみに、カブトムシもコガネムシ科の昆虫である。



写真左)灯火に飛来したオオキイロコガネ(*Pollaplonyx flavidus*)

写真中)樹液に来たシロテンハナムグリ(*Protaetia orientalis submarumorea*)

写真右)芝生に佇むムネアカセンチコガネ(*Bolbocerosoma nigroplagiatum*)

高標高のブナ帯にはオオチャイロハナムグリ(*Osmoderma opicum*)や一部のハナムグリはマルバネクワガタのように樹洞で生活する。



写真左)樹洞の中のオオチャイロハナムグリ雄

写真右)オオチャイロハナムグリの発生する洞の内部

オオセンチコガネなどの糞虫は動物の糞を食物とするが、その体色の美しさから大変人気である。ぜひ標本をご覧いただきたい。